

平成 16 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（非連結）

平成 16 年 1 月 29 日

会 社 名 株式会社富士通ビー・エス・シー (コード番号：4793 登録銘柄)
 (URL <http://www.bsc.fujitsu.com/>)
 代 表 者 役 職 名 代表取締役社長
 氏 名 米山 幸彦
 問い合わせ先 責任者役職名 取締役 企画本部長
 氏 名 石井 恒好 (TEL (03) 5740 - 3111 [代表])

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近会計年度における : 無
 認識の方法との相違の有無
 連結及び持分法の連結範囲の異動の状況 : 無

2. 平成16年3月期第3四半期業績の概況（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

(1) 経営成績の進捗状況

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成 16 年 3 月期第 3 四半期	21,523	(8.7)	691	(29.9)	413	(17.3)
平成 15 年 3 月期第 3 四半期	19,793	()	532	()	352	()
(参考)平成 15 年 3 月期	31,573		1,347		1,105	

	当期(第3四半期)純利益	1株当たり当期(第3四半期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期(第3四半期)純利益
	百万円 %	円 銭	円 銭
平成 16 年 3 月期第 3 四半期	215 (16.6)	18.26	
平成 15 年 3 月期第 3 四半期	184 ()	15.66	
(参考)平成 15 年 3 月期	589	46.23	

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は対前年同四半期増減率

[当第 3 四半期の概況]

当第 3 四半期（平成15年4月から12月までの9ヶ月間、以下同じ）におけるわが国経済は、企業収益の改善や株価の持ち直し等、一部に景気回復の兆しは見え始めたものの、長引くデフレ基調を背景に企業の投資行動は慎重なまま推移しており、また個人消費も盛り上がり欠ける等、内需の本格的な自立回復までには至りませんでした。

情報サービス産業においても、企業の情報化投資の縮小、先送り基調は依然として続いております。更に、受注競争の激化を背景に、情報化投資へのコストダウン圧力が予想以上に強まる等、収益的にはますます厳しい経営環境に推移しました。

このような環境のもと、当社は急成長しているデジタル家電、携帯電話、カーナビゲーションといったコンシューマ製品向けの組み込みシステムへの集中を進めるとともに、自社パッケージ製品を中心とするソリューションビジネスへの展開を推進し、自主ビジネスの強化に努めてまいりました。

その結果、当第 3 四半期の売上高は215億23百万円（前年同期比8.7%増）となりました。利益面においては、全体的な受注価格の低下に加え一部に高原価案件が発生したことから原価の高騰を招きましたが、徹底的な効率化と経費削減による吸収に努め、その結果、営業利益6億91百万円（同29.9%増）、経常利益4億13百万円（同17.3%増）、第 3 四半期純利益2億15百万円（同16.6%増）となりました。

(2) 財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
平成16年3月期第3四半期	23,707	14,007	59.1	1,187.08
平成15年3月期第3四半期	20,063	13,576	67.7	1,150.55
(参考)平成15年3月期	23,773	13,981	58.8	1,181.14

【キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 (第3四半)期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
平成16年3月期第3四半期	2,685	38	1,425	3,939
平成15年3月期第3四半期	1,629	455	304	4,871
(参考)平成15年3月期	2,093	625	310	5,160

〔財政状態（キャッシュ・フロー）〕

当第3四半期末における現金及び現金同等物は、期首に比べ12億21百万円減少し39億39百万円となりました。当第3四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの増減要因は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは26億85百万円の減少となりました。主なものは、税引前当期（第3四半期）純利益4億13百万円、退職給付引当金の増加額4億59百万円、売上債権の減少額43億78百万円等があったことに対し、たな卸資産の増加額55億72百万円、仕入債務の減少額7億55百万円、法人税等の支払い9億36百万円等があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは38百万円の増加となりました。主なものは、新事務所移転に伴う旧「田町テクニカルセンター」解約による差入保証金の返還による収入6億44百万円等があった一方、新事務所に関わる差入保証金の支払い等1億94百万円、有形固定資産取得による支出3億28百万円、無形固定資産取得による支出95百万円等があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは14億25百万円の増加となりました。これは、短期借入金による調達15億50百万円あった一方、配当金の支払い1億24百万円があったことによるものです。

3. 平成16年3月期業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	32,500	150	80	6.77

〔業績予想〕

通期の業績予想につきましては、以下の要因から、中間決算短信発表時に公表いたしました通期業績予想を本日修正いたしました。

- (1) 売上については、情報化投資の抑制基調が続くなか、予定プロジェクトの延伸・規模縮小が懸念されており、予想売上の確保が厳しい状況にあります。
- (2) 利益面については、受注環境の激化を背景に、受注価格が予想以上に低下しております。
- (3) 一部大型の不採算プロジェクトの発生が見込まれており、収益面を大きく圧迫することが予測されます。

（注意事項）

上記に記載した予想数値は、現時点で当社が入手可能な情報に基づいて算定しております。従いまして、今後のさまざまな要因の変化等により、実際の売上及び利益は当該予想と異なる場合がありますのでご承知おきください。

以 上

[添付資料]

1. 第3四半期(要約)貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当第3四半期末 (平成15年12月31日現在)		前第3四半期末 (平成14年12月31日現在)		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成15年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(資 産 の 部)		%		%		%
流 動 資 産						
1. 現 金 及 び 預 金	438		679		568	
2. 預 け 金	3,490		4,190		4,590	
3. 受 取 手 形	45		62		43	
4. 売 掛 金	5,759		4,869		10,139	
5. 有 価 証 券	10		1		1	
6. た な 卸 資 産	8,523		5,018		2,951	
7. そ の 他	959		787		745	
8. 貸 倒 引 当 金	5		7		16	
流 動 資 産 合 計	19,222	81.1	15,603	77.8	19,024	80.0
固 定 資 産						
1. 有 形 固 定 資 産						
(1) 建 物	920		892		878	
(2) 土 地	1,268		1,268		1,268	
(3) そ の 他	355		284		272	
有 形 固 定 資 産 合 計	2,544	10.7	2,446	12.2	2,419	10.2
2. 無 形 固 定 資 産	266	1.1	214	1.1	268	1.1
3. 投 資 そ の 他 の 資 産						
(1) 投 資 有 価 証 券	207		126		226	
(2) 関 係 会 社 株 式	52		52		52	
(3) そ の 他	1,412		1,619		1,780	
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	1,673	7.1	1,799	8.9	2,059	8.7
固 定 資 産 合 計	4,485	18.9	4,460	22.2	4,748	20.0
資 産 合 計	23,707	100.0	20,063	100.0	23,773	100.0

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期末 (平成15年12月31日現在)		前第3四半期末 (平成14年12月31日現在)		前事業年度の 要約貸借対照表 (平成15年3月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
(負債の部)		%		%		%
流動負債						
1. 買掛金	3,119		2,338		3,838	
2. 短期借入金	1,550					
3. 未払費用	1,382		1,209		2,027	
4. その他	529		472		1,276	
流動負債合計	6,581	27.8	4,020	20.0	7,142	30.1
固定負債						
1. 退職給付引当金	2,955		2,324		2,496	
2. 役員退職慰労引当金	162		141		151	
固定負債合計	3,118	13.1	2,465	12.3	2,648	11.1
負債合計	9,700	40.9	6,486	32.3	9,791	41.2
(資本の部)						
資本金	1,970	8.3	1,970	9.8	1,970	8.3
資本剰余金						
1. 資本準備金	3,012		3,012		3,012	
資本剰余金合計	3,012	12.7	3,012	15.0	3,012	12.7
利益剰余金						
1. 利益準備金	86		86		86	
2. 任意積立金	8,636		8,242		8,242	
3. 当期(第3四半期)未処分利益	303		262		667	
利益剰余金合計	9,026	38.1	8,591	42.9	8,996	37.8
その他有価証券評価差額金	1	0.0	2	0.0	2	0.0
資本合計	14,007	59.1	13,576	67.7	13,981	58.8
負債資本合計	23,707	100.0	20,063	100.0	23,773	100.0

2.第3四半期(要約)損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当第3四半期 〔自平成15年4月1日〕 〔至平成15年12月31日〕		前第3四半期 〔自平成14年4月1日〕 〔至平成14年12月31日〕		前事業年度の 要約損益計算書 〔自平成14年4月1日〕 〔至平成15年3月31日〕	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
売 上 高	21,523	100.0	19,793	100.0	31,573	100.0
売 上 原 価	18,731	87.0	16,818	85.0	27,114	85.9
売 上 総 利 益	2,792	13.0	2,975	15.0	4,459	14.1
販売費及び一般管理費	2,101	9.8	2,443	12.3	3,111	9.8
営 業 利 益	691	3.2	532	2.7	1,347	4.3
営 業 外 収 益	67	0.3	34	0.2	42	0.1
営 業 外 費 用	345	1.6	214	1.1	284	0.9
経 常 利 益	413	1.9	352	1.8	1,105	3.5
税引前当期(第3四半期)純利益	413	1.9	352	1.8	1,105	3.5
法 人 税 等	197	0.9	167	0.9	515	1.6
当期(第3四半期)純利益	215	1.0	184	0.9	589	1.9

3.第3四半期(要約)キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	期 別	当第3四半期	前第3四半期	前事業年度の要約 キャッシュ・フロー 計算書
		[自平成15年4月1日] [至平成15年12月31日]	[自平成14年4月1日] [至平成14年12月31日]	[自平成14年4月1日] [至平成15年3月31日]
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税引前当期(第3四半期)純利益		413	352	1,105
減価償却費		236	152	216
退職給付引当金の増加額		459	523	696
役員退職慰労引当金の増加額		11	32	42
貸倒引当金の減少額		11	13	4
投資有価証券売却損益		6	2	2
投資有価証券評価損		4	0	0
受取利息及び受取配当金		19	11	12
支払利息		1	0	0
為替差損益		0	0	0
固定資産売却損		50	5	5
売上債権の減少額		4,378	5,934	683
たな卸資産の増加額		5,572	2,979	911
その他の資産の増加額		120	99	8
仕入債務の増加額(減少額)		755	230	1,295
その他の負債の減少額		807	1,187	165
役員賞与の支払額		23	19	19
小計		1,762	2,465	2,928
利息及び配当金の受取額		15	10	11
利息の支払額		1	1	1
法人税等の支払額		936	845	845
営業活動によるキャッシュ・フロー		2,685	1,629	2,093
投資活動によるキャッシュ・フロー				
投資有価証券取得による支出			30	130
投資有価証券売却による収入		9	0	0
投資有価証券清算分配金による収入		5		
有形固定資産取得による支出		328	214	233
無形固定資産取得による支出		95	112	174
差入保証金の支払い		194	99	101
差入保証金の返還による収入		644	3	17
その他		2	3	4
投資活動によるキャッシュ・フロー		38	455	625
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増加額		1,550		
長期借入金の返済による支出			170	170
配当金の支払額		124	134	140
財務活動によるキャッシュ・フロー		1,425	304	310
現金及び現金同等物に係る換算差額		0	0	0
現金及び現金同等物の増加額(減少額)		1,221	868	1,157
現金及び現金同等物の期首残高		5,160	4,002	4,002
現金及び現金同等物の(第3四半)期末残高		3,939	4,871	5,160